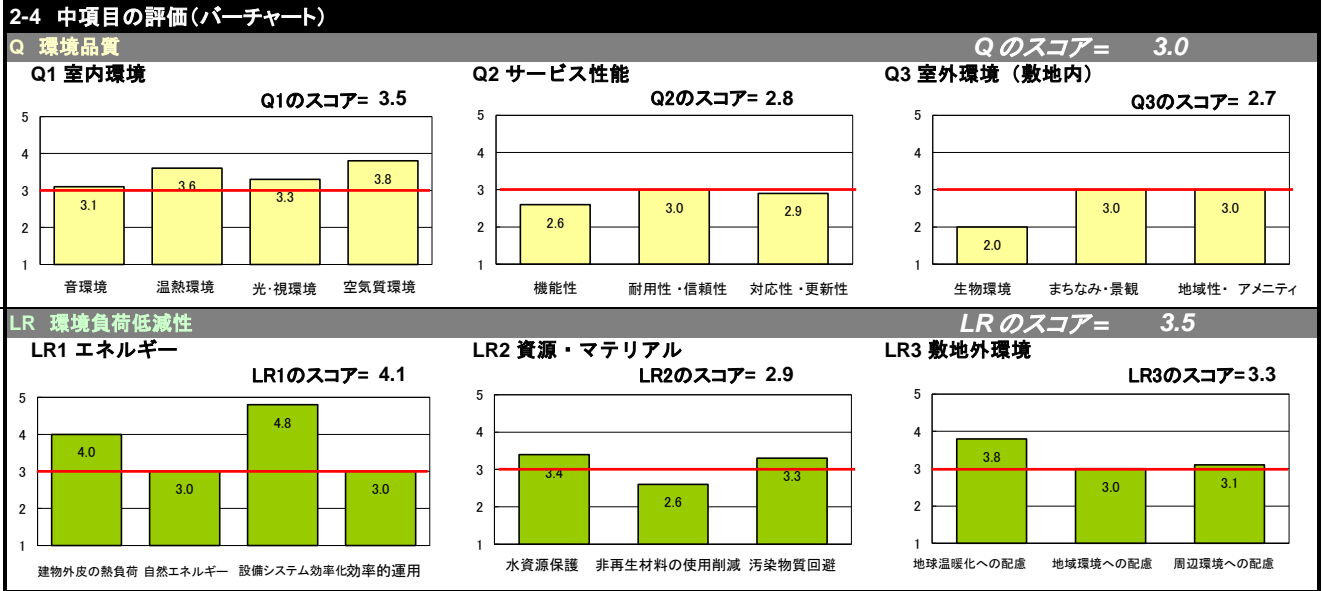
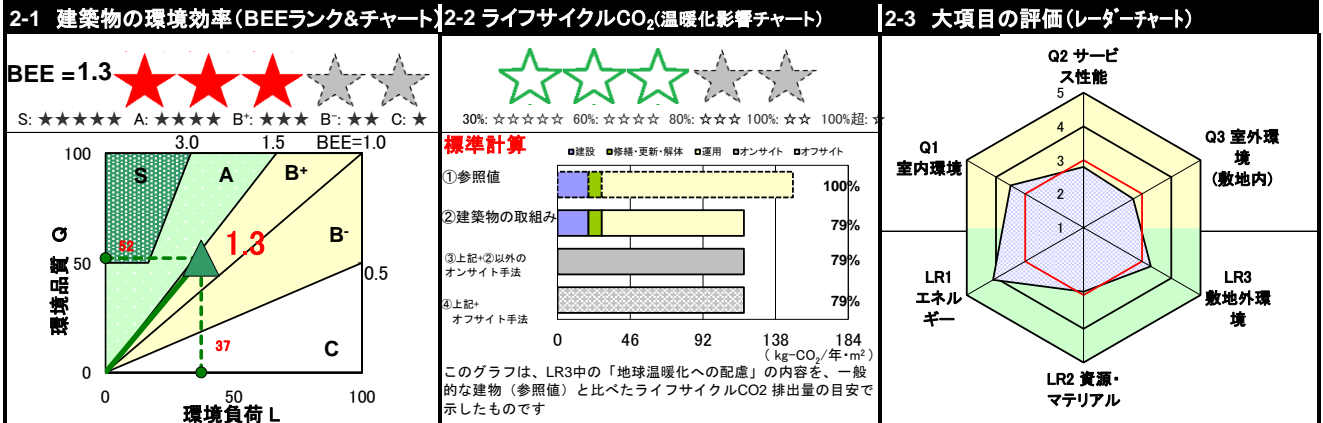


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)クリオ藤沢 I 新築工事	階数	地上13F
建設地	神奈川県藤沢市鶴沼橋1丁目1902-10 他	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	144 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2019年3月6日
敷地面積	933 m ²	作成者	(株)SD建築企画研究所
建築面積	373 m ²	確認日	2019年3月6日
延床面積	3,567 m ²	確認者	(株)SD建築企画研究所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>共同住宅として、建築物の環境品質を高めるのと同時に周辺に対する環境負荷を抑えるよう計画した。</p>		<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>適度な大きさの開口部を設置し、室内の明るさに配慮した計画とした。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>ゆとりある階高・天井高とし、フレキシビリティ性の向上に配慮した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>周辺の住宅地に配慮した計画とした。周辺の自然と調和した緑化空間を形成した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明設備、潜熱回収給湯器を利用するなど、省エネルギーに配慮した計画とした。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体と仕上げ材が容易に分別可能な計画とした。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>適切な量の駐車・駐輪場を確保し、入居者に配慮した計画とした。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される